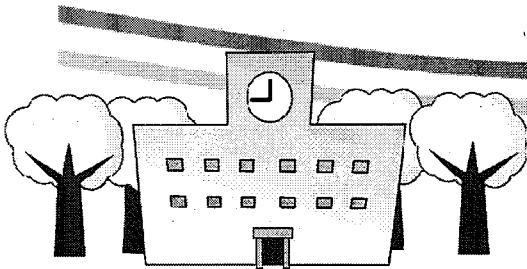
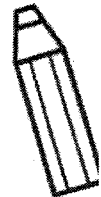


柏市社会教育委員会議

「学校現場から見た学校支援体制と ボランティア活動」



平成30年2月20日
柏市教育委員会指導課



1 学校を取り巻く環境

<将来予測>

- ・ 今後10～20年程度で、47%の仕事が自動化
- ・ 小学校に入学した子供の65%は大学卒業後、いま存在しない職業に就職
- ・ 頭脳労働までもがコンピュータ（AI）により代替

<今後の教育の在り方>

- ・ 社会に出たあとも学び続け、新たに必要とされる知識や技術を不断に身に付けること
- ・ 仕事以外の時間を創造的、生産的に過ごすための学びの機会を提供

1. 社会に出た後も、誰もが「学び続け」、夢と志のために挑戦できる社会へ
2. 多様な人材が担い手となる「全員参加型社会」へ
3. 教育がエンジンとなって「地方創生」を

(1) 新しい時代に求められる学校「量」から「質の充実」へ

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む
「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共（仮称）」の新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

学習内容の削減は行わない※

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成
知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための学習過程の質的改善

主体的な学び
対話的な学び

深い学び

(2) 学校の果たす役割の拡大

- いじめ・不登校などの生徒指導上の課題や特別支援教育の充実への対応など、学校の抱える課題が複雑化・多様化。
- 貧困問題への対応など、学校に求められる役割が拡大。
- 課題の複雑化・多様化に伴い、心理や福祉等の専門性が求められている

かつての学校の役割

授業

生徒指導

部活動

学校行事

〈学校の役割拡大による業務量増〉

- ◆ 家庭・地域の環境・教育力低下
- ◆ 児童生徒への指導の困難化
- ◆ 保護者対応の増加
- ◆ グローバル化・知識基盤社会に伴う新しい教育への対応
- ◆ 説明責任の増大

現在の学校の役割

授業

環境教育
情報教育
消費者教育
小学校英語 etc.

生徒指導

部活動

学校行事

心理・福祉面の支援

通学路の安全確保

学校外での生徒指導

保護者対応

特別支援教育

学校評価・外部への説明責任

ある学校の時間割

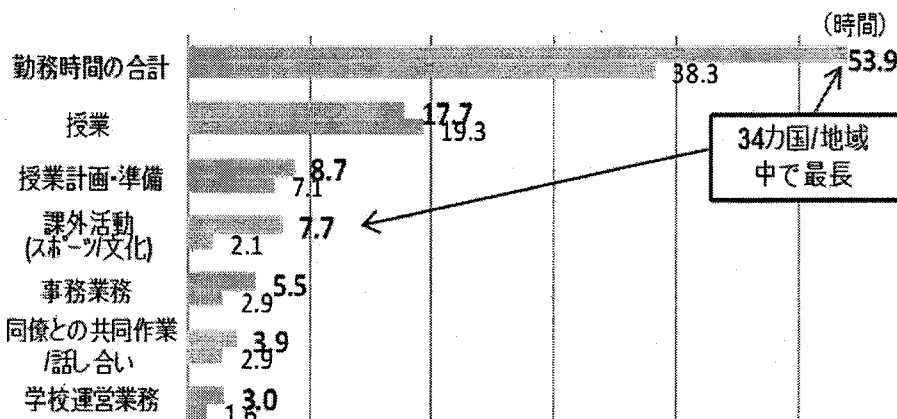
- 朝は7時に出勤
- 休み時間は遊ぶ
- お昼は給食指導
- 放課後は部活動や会議
- 自分の仕事は、18時以降
- 帰るのは20時過ぎ
- 土日も地域行事、中学校は部活動

		月	火	水	木	金
7:50~8:10		登校時刻 8:10				
8:15~8:20		朝のあいさつ・健康観察				
	8:20~8:25	8:20~8:30	朝の会	職員打合せ 朝自習	朝の会	朝の会
	8:25~8:40	8:35~8:40	1の1	朝の会	1の2	1の3
1	8:40~9:25 (45分)		2	3	4	5
						6
						(休憩5分)
2	9:25~9:30 (45分)		7	8	9	10
						11
青空タイム 10:15~10:35		青空タイム(20分間)				
3	10:35~11:20 (45分)		12	13	14	15
						16
						(休憩10分)
4	11:20~11:30 (45分)		17	18	19	20
						21
給食	12:15~13:00	給食				
昼休み	13:00~13:20	昼休み	昼休み	なかよしタイム	昼休み	昼休み
清掃	13:20~13:40	清掃	清掃		清掃	清掃
準備	13:40~13:45	準備	準備		準備	準備
5	13:45~14:30 (45分)		26	22	23	24
						25
						(休憩5分)
	14:30~14:35 (45分)	(休憩5分)	(休憩5分)	帰りの会	帰りの会	(休憩5分)
			29	27		28
	15:20~15:40	帰りの会	帰りの会	登校会・クラブは 15:00~15:45		帰りの会

休憩なし、休息なし、
トイレなし?

(3) 子供と向き合う時間の確保

- 我が国の教員は、学習指導、生徒指導、部活動等、幅広い業務を担い、子供たちの状況を総合的に把握して指導している。
- 我が国の学校は、欧米諸国と比較して、教員以外の専門スタッフの配置が少ない。
- 我が国の教員は、国際的に見て、勤務時間が長い。



教員の現状と課題
(TALIS2013より)
上:日本, 下:参加国

・1週間あたりの勤務時間が最も長い

これからの学校と地域が目指す連携・協働 社会に開かれた教育課程

1 地域とともにある学校への転換

開かれた学校から一歩踏み出し、地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」に転換

2 子供も大人も学び合い育ち合う教育体制の構築

地域の様々な機関や団体等がネットワーク化を図りながら、学校、家庭及び地域が相互に協力し、地域全体で学びを展開していく「子供も大人も学び合い育ち合う教育体制」を一体的・総合的な体制の構築

3 学校を核とした地域づくりの推進

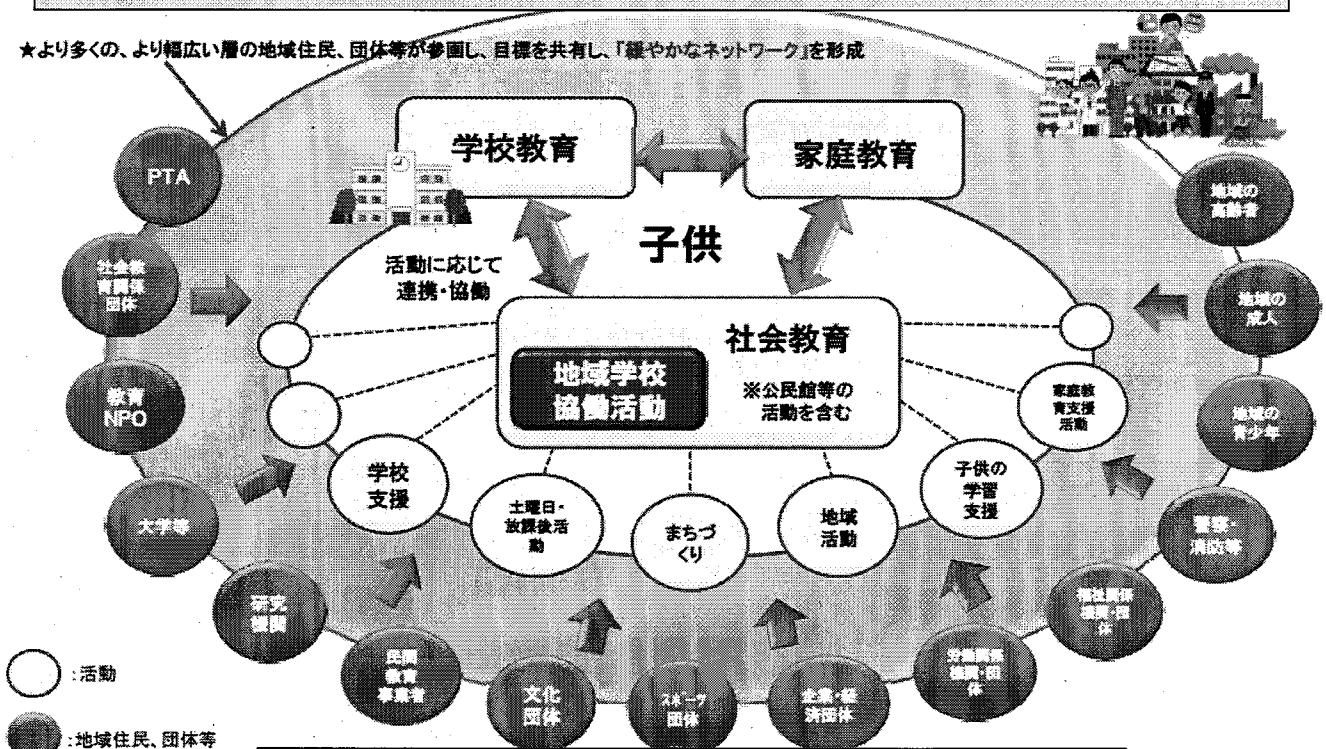
学校を核とした協働の取組を通じて、地域の将来を担う人材を育成し、自立した地域社会の基盤の構築を図る「学校を核とした地域づくり」を推進。

H27.12.21 中央教育審議会

新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について(答申)

子供も大人も「学び合い、育ち合う」

★より多くの、より幅広い層の地域住民、団体等が参画し、目標を共有し、「緩やかなネットワーク」を形成



教員は異動しても、子供と地域は変わらない

2 柏市の学校支援体制

(1) 学校評議員

・学校が家庭や地域と連携協力しながら、特色ある教育活動を展開することを目的に、校長の求めに応じ、意見を述べる。

(保護者、地域住民、有識者等 8名以内)

学校を支える 約450人の評議員

(2) PTA

- ・柏市公立小中学校62校のPTA
- ・柏市PTA連絡協議会

2 柏市の学校支援体制

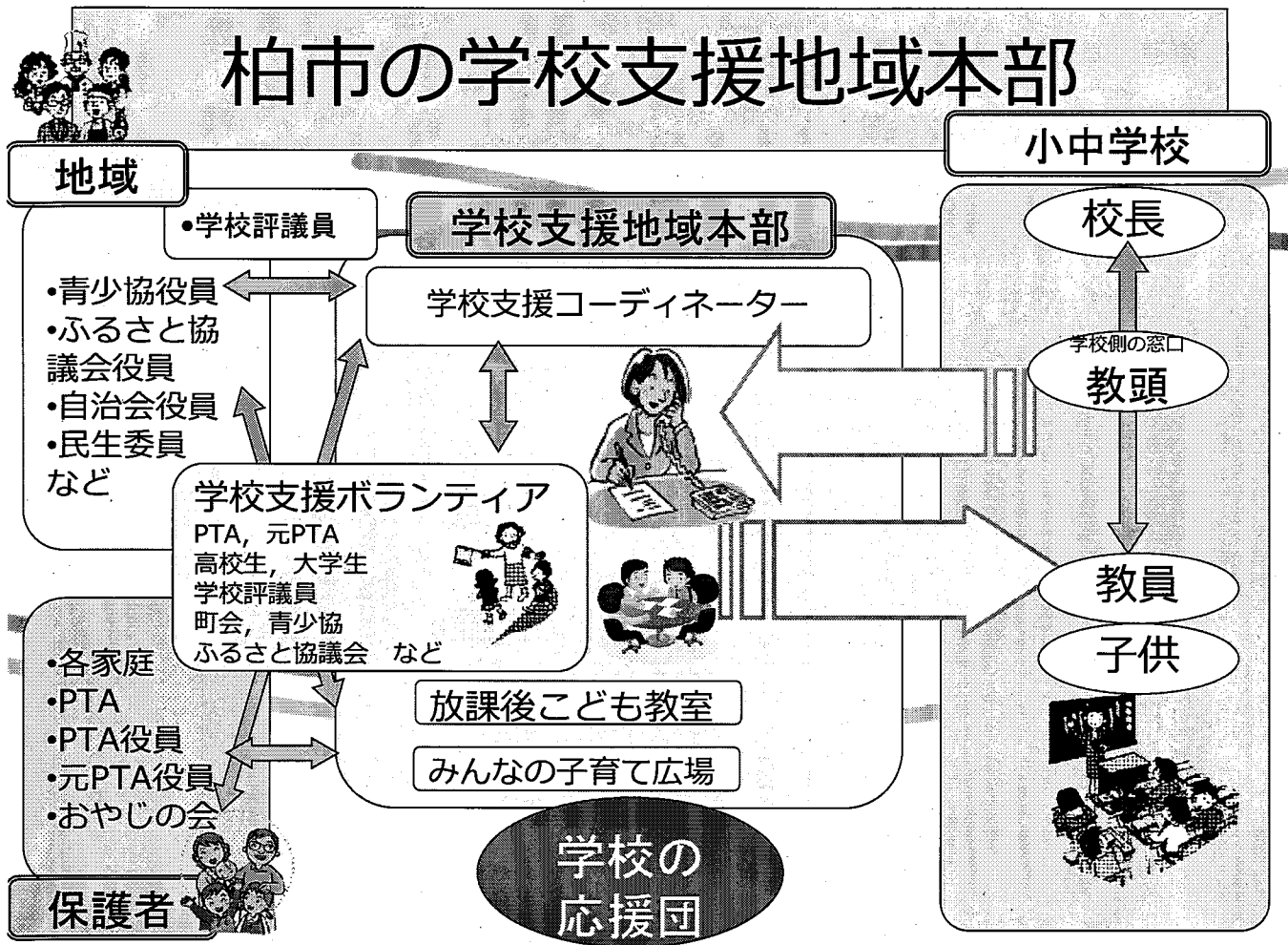
(3) 学校支援ボランティア

学校支援ボランティアの人数

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学校支援地域コーディネーター	51名 【登録者】 36校	52名 【登録者】 44校	44名 【登録者】 45校	46名 【登録者】 49校	48名 【登録者】 49校
学校支援ボランティア	3633名	4635名	4631名	4505名	集計中

学校を支える 約4500人のボランティア

柏市の学校支援地域本部



中学校区で支援

- 1 中学校区で学校支援（6中学校区）
柏中「ゆいの会」、柏四中「銀杏の会」、
逆井中「十色さかそう会」、高柳中「TCN」、
風早中「風早見守り隊」、
松葉中「松葉町地域子育て支援連絡会」
- 2 ふるさと協議会や青少協などが中
学校区を支援（6中学校区）
柏二中、富勢中、田中中、光ヶ丘中、西原中、
手賀中 など

3 柏市内小中学校の取り組み

(1) 学習支援

開かれた教育課程

- 授業補助（大学生，地域人材），
- 補習授業（放課後，夏季休業中）
- 国語 読み聞かせ，書き初め指導
- 社会 町探検，農業体験，歴史文化財，郷土学習
- 算数 そろばん指導，かけ算習熟補助
- 理科 実験補助，専門家特別授業
- 生活 昔遊び，探検補助
- 図画工作 道具操作補助（糸のこぎり，彫刻刀など）
- 音楽 リコーダー指導補助，和楽器演奏
- 家庭 裁縫・ミシン補助，調理実習補助
- 体育 プール監視員，ニュースポーツ紹介
- 特活 クラブ活動講師（囲碁将棋，茶道，華道）
- 総合 福祉，環境，情報，キャリア教育 など

約100人のボランティア

(2) 交通安全支援

- 小学校 登下校時の見守り
- 生活科，社会，総合的な学習の時間の児童引率補助，見守り
- 中学生 下校時の見守り



約1000人のボランティア

(3) 環境整備

- 花壇の整備, 樹木剪定
- 雑草取り, 落ち葉掃き
- ビオトープ, 池の整備
- 校庭整備
- プール掃除
- トイレ掃除, 校舎内清掃
- 遊具, 壁面塗装
- 営繕

約400人のボランティア



(4) 部活動支援

- 指導者補助
- 練習試合引率補助
- 楽器運搬 (トラック)

(5) その他学校行事

運動会準備, 片付け
安全マップづくり
地域連携防災訓練
地域連携引き渡し訓練

子どもたちと
かかわる喜び

4-1 柏六小の取り組み (平成28年度)

- 学校支援ボランティア
交通安全3名 読み聞かせ10名
環境・美化 なし→19名
- 学校支援コーディネーター 榎本初恵さん
- PTAによる学校支援が中心
- 地域には子ども達の成長を願ってくれる元気な高齢者の方が多い
- 「豊四季台くるるセミナー」と連携

地域の強みを生かした学校支援が可能な地域

PTA中心に 支援していただいているもの

- 朝の安全登校指導 (1人あたり年1,2回)
- 除草作業 (年2回)
- ベルマーク集計 (年2回)
- 校内美化活動
- 運動会準備, 運営協力 (3回)
- 児童センターまつり協力 (年2回)
- ふれあいコンサート

地域の方でも協力できるものがあれば,
学校に提案してもらってもよいですね

委員会活動とガーデニング



多目的室を使って講座を開催。実習は学校の花壇で行う。



草取り
土づくり
苗の植え付け



学校支援の活動を 知っていただくために 広報が大切

- 学校便り「さざんか」
 - ・豊四季台くるるセミナーの紹介
 - ・講座の募集
 - ・交流の様子紹介
 - ・ボランティアの募集
 - ・読み聞かせ見学のお誘い
- 学校ホームページ
 - ・学校だより「さざんか」の掲載
 - ・交流の様子紹介 など

学校だより **家 さざんか** 平成27年 9月 9日(休) No.8 豊四季台くるるセミナー紹介号 柏市立柏第六小学校

「地域とともに歩む学校」作りを目指して

子どもたちを健やかに育てるために、学校が核となり、PTA、町会や子ども会、民生・児童委員や相談員、民間企業を含めた様々な教育力を結集し、地域全体で教育に取り組むことが重要になってきました。柏六小は、児童数が徐々に増え、小規模校から中規模校となりました。これまでの柏六小の良さを大切にしながら、「地域とともに歩む学校づくり」を、より一層、推進していきたいと考えています。

そこで今回は、その地域との連携の一つとして、**豊四季台地域のくるるセミナー**を紹介します。

豊四季台くるるるセミナーとは？

2013年 10月より活動開始

企画・運営 東大高齢社会総合研究機構・柏市・柏市社会福祉協議会
「くるるるセミナー」の「くるる」とは、元気に活動されるシニアの方々のイメージした言葉で、聞く、学ぶの語尾をとってつくられたものです。単に生産学習の講座に参加するだけでなく、そこで出会った人々とサークル活動やボランティア活動に自主的に取り組み、まちで活躍することを目標としています。

講座の構成 高齢者の社会参加の第一歩
○7ヵ所・7ヵ講座 参加者の自主グループ作りをすすめる。
○自主活動 それぞれの自主グループが社会的な活動を行う。
※ 第1期は6～7月、第2期は10月～11月、第3期は2月～3月に講座を開催

どんな活動をしているの？

- ※2～4回の連続講座 講義・ワークショップ・実習、実技
- 【2014年度開設講座の一部を紹介します。】**
- ・博物館で学びを楽しむ
 - ・楽しく学べる防災セミナー
 - ・くるるる歌謡サロン
 - ・ウォーキングセミナー
 - ・助けあい活動のつくり方
 - ・即興劇で学ぶコミュニケーション講座
 - ・語りを通して自分を知る
 - ・高齢期の暮らしと健康を考える
 - ・ストレッチダンスと歌声喫茶
 - ・ケアサポーター養成講座
 - ・和服が織りなす日本の伝統美を学ぶ など

学校と家庭と地域を結ぶ架け橋

— こんな連携を実施・計画中 — **具体的な連携の取り組み**

○**東大キッズセミナーを開催！**
今年の夏休みに、東大のキッズセミナーを2日間、開催し、約100名の児童が参加しました。企画は、東大ですが、参加面で「くるるるセミナー」参加者の方にお手伝いをして頂き、お世話になりました。
※ 新たに、地域の方との小さな交流が始まりました。 空気砲作り



○**さざんか祭り(午後の部)に、くるるる100人合唱団が出演決定！**
○**学校と連携して、講座を開催！(ただ今、計画中)**

講義・ワークショップを終えた後、実習・実技などを柏六小で

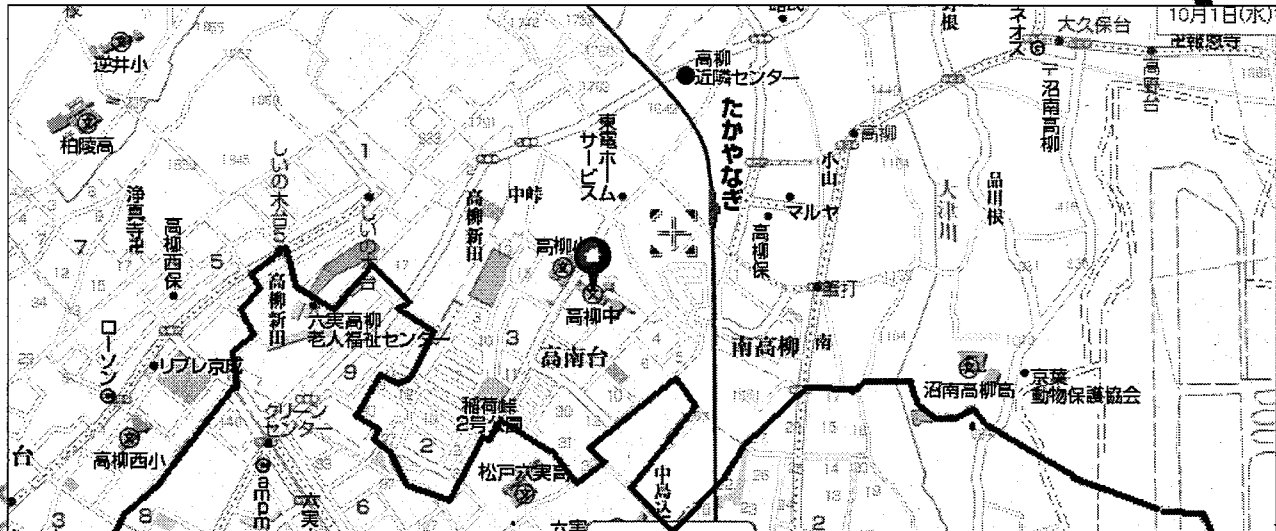


実は、皆さんの口コミが一番の広報なんです

募集がありましたら、その都度「さざんか」でもお伝えします。 裏面あり

4-2 高柳中の取り組み

高柳小，高柳西小，沼南高柳高，事業所等



TCN (高柳地域ネットワーク隊)



登録者に「ワッペン」を配布し、外出時につけて頂く

- 登録者のライフスタイルを変えない
- 子どもへの「声かけ」や「あいさつ」
- うるさいおじさん、おばさんを多くしよう
- 保護者だけでなく「地域住民」も
- 地域とは中学校区
- 小学校2校・高校1校・事業所との連携
- 地域の団体・組織の集合体

ピカ美化運動



行事支援



部活動支援



いきいきセミナー

「学校支援体制とボランティア活動」にて

でも、地域の方にとって、学校の敷居が高い？

学校に子ども
が通っている



町会の活動に
参加する

地域関係者か
らの紹介

地域回覧「学校
便り」のボラン
ティア募集



地域の方と
して学校で
ボランティア

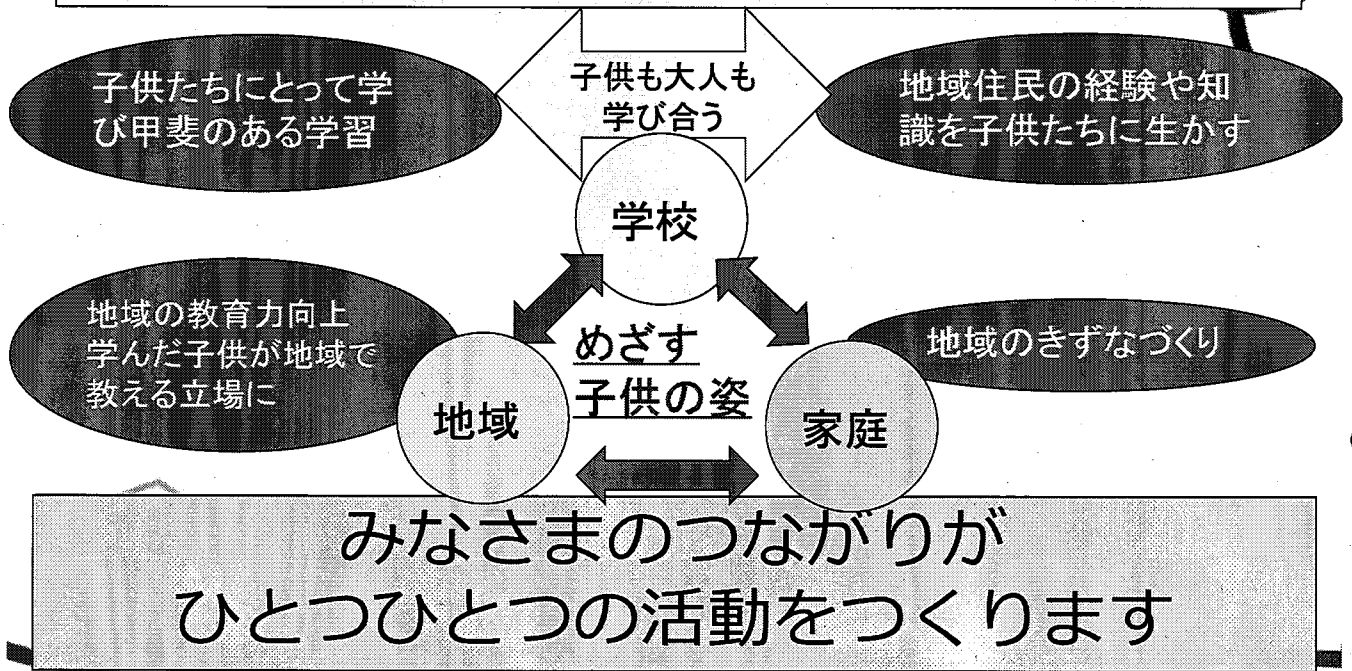
はい

PTA活動として
学校でボランテ
ィア

何かできそうなことは、見つかりましたか？

家庭は子どもを育て 学校は子どもを教育し 地域が子どもを育て上げる

「H26 柏市学校評議員連絡協議会」より



本日のまとめ

学校から見た地域と学校の協働のよさ

- 子どもの学びを豊かにすることができる
 - ✓ 本物に触れる体験
 - ✓ 学び甲斐のある学習
 - ✓ 人との関わり
- 子どもと向き合う時間の確保
 - ✓ 学校教育の担う役割
- 教職員の育成
 - ✓ めざすこども像の共有
 - ✓ 教職員の成長

・地域学校協働活動
・コミュニティ・スクール
(学校運営協議会)
を生かして

教育委員会

地域の特色を生かして「ともに子どもを育てる」
関係づくり、意識づくり、体制づくり(計画的に継続的に)